

鎌ヶ谷市きらりホール運営委員会 令和2年度第1回会議 会議録

日 時：令和2年11月11日（水） 午後3時～午後5時

会 場：きらりホール 舞台

出席委員：平栗三男委員長、齋藤譲一副委員長、清水暉允委員、伊藤眞由美委員、
植草ひろみ委員、小川由美子委員、石井圭子委員、佐瀬光代委員、
榎本美紅委員、加藤嘉美委員、渡部克弘委員

指定管理者（株式会社セイウン）：きらりホール林館長、渡邊副館長

指定管理事業本部 加藤寿一、小倉茜、小口菜月
事務局（文化・スポーツ課）：小松崎課長、後野副主幹、土田主任主事、石毛主任
主事

欠席委員：菅井浩樹委員、石川康委員、内山治委員

傍聴者：0人

（1）開会

- ・自己紹介
- ・会議録署名は、清水委員、伊藤委員に決定。

（2）報告事項

①報告第1号「令和元年度事業報告」

～事務局より、資料1に沿って説明～

委 員：集客のためには広報活動が重要である。指定管理者にはワンコインコンサートなどの新規事業を継続していただき、市民の関心度を高めて欲しい。お金を使わなくてもできることは沢山あると思うので、今までの入場者数を次に繋げて欲しい。

委 員：今までよくやってきたと思う。次世代の子ども達を育てる視点で事業が行われており、内容もバランスが取れている。特に映画はよい映画を上映して市民に定着しており、近年公演数が減少しているオペラ公演を開催しているのも良いことだと思う。予算が少ない中で、これだけのことをよくやってきたと感じる。

②報告第2号「令和2年度事業計画及び上半期事業報告」

報告第3号「令和3年度事業計画」

～指定管理者 株式会社セイウンより、資料2に沿って説明～

委員：コロナ禍の状況で、主催事業を19公演実施予定とのことに関心している。ところで、令和3年度は市制50周年だが、何か関連事業はあるのか。

指定管理者：鎌ヶ谷市との具体的な話し合いはしていないが、鎌ヶ谷市がきらりホールを使って催事を行う際に、スタッフや広報面などで協力するつもりである。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策による制限等があり積極的な広報活動ができていないが、市制50周年記念事業は、発行誌「きらりNEWS」などに掲載して広報していきたい。

委員：無料公演と有料公演の違いは何か。

指定管理者：今まで鎌ヶ谷市が実施し市民に根付いている催しは、できる限り引継ぎ、無料で開催していたものは引き続き無料で実施している。そのほかの公演は、有料としている。

委員：梅沢富美男のように知名度の高い方の公演を2年毎に行うのは、とても良い試みだと思う。

市民会館ロビーに掲示しているさかなクンの直筆絵画や、1966カルテットのPR動画、島田歌穂&島健トークライブ無料招待などを周知して、「友の会」会員をさらに増やして欲しい。

委員：きらりホールツイッターのフォロワーが33人では少ない。また、ハッシュタグの「鎌ヶ谷」の「ヶ」の字を大小どちらかにそろえた方が良いのではないか。

指定管理者：小さい「ヶ」をハッシュタグに使っている方が多かったので、小さい「ヶ」を使用している。

委員：鎌ヶ谷市役所は大きい「ヶ」にしているので、検討が必要と感じる。

指定管理者：余裕があれば、どちらも入れるようにしたい。

委員：公演アンケート結果は、比較のために昨年までと同じ様式で報告して欲しい。また、「アーティスト発掘プロジェクト受賞者記念コンサート」できらりホールは音響と照明に力を入れたとのことだが、アンケートのコメントに音が聴きにくかったとの意見があった。実際はどうだったのか。

委員：実際は、音が聴きにくい状況ではなく、そのほかの方から音響へのご意見は無かった。

委員：自分の子どもが「バックステージツアー」に参加した。とても楽しか

ったようで、その後きらりホールに来た際に、舞台の仕事について誇らしげに話をしていた。子ども達の将来に繋がる、とても素晴らしい事業だったと思う。大変だとは思いますが、ぜひ今後も続けていただきたい。

委員：今年度は、市民文化祭、中央公民館ふれあいまつりが中止となってしまった。「本番」という目標があると、市民の皆さんも生活にハリが出るので、感染症対策を徹底した上で、「文化の交差点」きらりホールに人が集まり、ステージに立てる機会を作っていただきたい。

(3) その他

今後のきらりホール運営委員会会議日程及び報告事項について
～事務局より、資料3に沿って説明～

事務局：新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年7月の会議を延期したが、本日の会議で令和2年度に予定していた全ての報告を行ったため、今年度の会議は本日をもって終了としたい。また、来年度以降の会議については、7月に書面にて「前年度事業報告」及び「当該年度事業計画」をご報告し、11月の会議で「当該年度上半期報告」及び「翌年度事業計画」についてご報告したいと考えている。なお、委員の皆様からのご意見については、随時承っていく。

～反対意見なし〈了承〉～

委員長：ほかに質問がなければ、これで閉会にする。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違のないことを証するために次に署名する。

令和2年12月 4日

氏名 清水 暉允

氏名 伊藤 眞由美